

令和3年3月5日

保護者のみなさま

桑野小学校長 吉本 憲司

## 令和2年度 学校評価に関するアンケート結果について

日一日と春らしい季節に近づいている今日この頃、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。日頃は、本校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、先日お願いいたしました「学校評価に関するアンケート」の児童及び保護者の集計結果をお知らせいたします。なお、学校ホームページにも掲載いたしますのでご覧ください。ご協力ありがとうございました。

学校では、児童・保護者からのアンケート調査結果をもとに、今年度の教育活動を振り返り、来年度のよりよい学校づくりにつなげていきたいと考えております。今後とも本校教育推進のため、なお一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 評価結果より

児童・保護者のアンケート結果から次のように考えました。なお、「よくあてはまる」「まあまああてはまる」を肯定的な回答とし、それが85%を上回ればその項目は達成しているとしました。

#### (児童アンケート)

##### ★達成しなかった項目

○『4 毎日の授業で、分かったことを話したり、書いたりすることができている』79.3%

○『5 わたしは、計算や漢字・文を書く力・話す力がついてきている』81.1%

話す力や書く力をつけるため、ペアやグループ学習を生かした対話的な授業や10分間の「つぼみっ子タイム」(主に視写学習)を行ってきた。しかし、コロナ禍で当初の授業の遅れを取り戻すことが優先となり、1年間を通して振り返ると対話的な授業が十分でなかったと考える。次年度は「つぼみっ子タイム」を継続して実施するとともに、1人1台のタブレットを生かした対話的な授業を年間を通して推進したい。

○『6 私は、学校や家で進んで本を読むことができている』70.7%

昨年度と比較すると2.3%向上しているが最も達成率が低い項目である。強制的な読書は読書嫌いになることもあるので、これまでの取組を粘り強く継続しながら、図書委員会による子どもたちの発想を生かした読書の普及に努めたい。

○『16 私は、進んで運動し、体力づくりをしている』79.9%

昨年度と比較すると9.3%低くなっている。コロナ禍で県・市水泳検定会、県・市陸上運動記録会、県体操発表会等様々な体育行事が中止になった。また、3・4・5月と長期間休校になり、在宅期間が長くなり運動する機会が減少したことが影響したと考える。授業で運動の楽しさを味わわせるとともに、外遊びを奨励したい。

○『23 私は、自分で考えて行動できるようになっている』84.8%

昨年度と比較すると9.2%低くなっている。本校の教育目標は主体性の育成であるが、まだまだ教師が子どもたちに様々な場面で任せ切れていないためだと考える。本年度、児童会が発足し子どもたちによる学校創りへの基盤はできたので、児童会活動の進展と継続して学級会活動の活性化に取り組むたい。

#### (保護者アンケート)

##### ★達成しなかった項目

○『1 「自分で考え、判断し、行動する児童」に育ちつつある』80.1%

○『9 子どもは家で進んで読書することができている』49.4%

○『16 家庭では、子どもが自分で学校の支度をし、忘れ物をしないようにしている』80.2%

保護者アンケート『1』『9』の項目は、児童アンケート『23』『6』と同じ内容の項目なので、次年度の最重点項目としたい。上に述べたことに確実に取り組み、成果が上がるように努めたい。

教育は学校だけでできるものではありません。家庭と学校が連携を密にして、子どもたちの教育に当たっていくことで効果が上がるものと考えております。いただいた評価をもとに、少しでもより良き方向に向かって進んでいけるよう努力して参りたいと思います。今後とも、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。